

介護の道へ志新た

六郷高福祉科 20期生14人が宣誓式



県内唯一の福祉科がある六郷高校（美郷町）で23日、福祉科20期生の宣誓式が行われ、今春進級した2年生14人が介護福祉士を目指すことを誓った。一人一人が名前を呼ばれた。

お礼の言葉を述べる富樫さん

けるため努力する」と誓いの言葉を述べた。伊藤校長は式辞で「福祉の普遍的な本質を大切にしながら、自ら考えて学び、判断して課題を解決できる人間になつてほしい」と激励した。最後に富樫さんがお礼の言葉を述べ、「一人とのつながる介護福祉士国家試験の合格を大切にし、命の尊厳と職責の重さを心に刻み、いつでも優しく寄り添うことのできる介護福祉士を目指す」と語った。六郷高では2年次から福祉科と普通科に分かれ、福祉科の生徒は3年次の1月に行われる介護福祉士国家試験の合格を目指す。座学のほか、特別養護老人ホームなどでの実習にも取り組む。今春卒業した18期生の合格率は90%で、全国平均の84.3%を上回った。福祉科は2003年に設置され、これまでに416人が卒業した。（佐藤将弥）